

「次世代へ繋ぐ」 学生団体から考える 減災と防災

上園 真輝人
(東北大学 SCRUM)

東北大学 SCRUM は、東日本大震災をきっかけに発足した団体である。発足当初のスローガンは「1人でも多くの学生を被災地に」で、被災地における学生ボランティア活動の継承・発展と、東北地域の復興への貢献を目的としてきた。現在では、新たな災害被災地での救援活動、東日本大震災の伝承活動、ボランティア活動や地域の魅力、防災の重要性を発信する活動などに取り組んでいる。

救援活動としては、東日本大震災被災地での活動経験をもとに、被災された方の心のケアを重視してきた。大規模災害では、がれきの撤去などのハード面の支援だけではなく、被災された方の精神面での安定も重要になってくる。そこで2016年熊本

地震、2019年台風19号の被災地などで、全国の学生ボランティアと連携しながら、足湯の提供を通じたケア活動（足湯ボランティア）に取り組んできた。また平時から、次の災害発生に備えた勉強会・講習会も定期的を開催するようにしている。

近年は、東日本大震災の伝承活動にも力を入れている。発災から12年以上の月日が経過し、記憶や経験の風化、語り部の高齢化が進行してきた。そこで今年度から、石巻市大川小学校事故のご遺族と連携し、震災遺構大川小学校の語り部ガイドを開始した。ガイドの対象は現地の訪問者や東北大学生で、「少しでも多



2023年9月に大川小学校で第1回語り部を行った様子

くの人に、災害を自分事として捉えてほしい」「自分の命と大切な人の命を守るための行動に移してほしい」という考えから、事故の事実と伝えたい思いを発信している。当団体の活動として来年度以降も継続的に取り組むことで、持続的な伝承の在り方を模索していきたい。

東北大学 SCRUM
かみぞの まきと
上園 真輝人

2011年に前身組織が発足。東北大学課外・ボランティア活動支援センターの学生スタッフ組織として活動。学生のボランティア活動を支援しながら、メンバー自らも多様なボランティア活動の企画や参加をしている。

GEOC/EPOからのお知らせ

GEOCウェブサイト「リニューアルオープン！」

GEOCウェブサイトをリニューアルいたしましたので、お知らせします。

今回のリニューアルでは、皆様により良く GEOCを知りご活用いただけるよう、構成やデザインを全面的に刷新しました。

また、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。

これからも、皆様のお役に立つ環境情報のご提供や、内容の充実に努めてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



つな環編集部

星野智子、尾山優子、江口健介、鈴木良壽、守山幸子、
今井麻希子（順不同）

つな環

検索

「つな環」はインターネットからもご覧いただけます。
http://www.geoc.jp/information/tsunakan